

はじめに



平成17年1月の菊川市誕生以来、第1次菊川市総合計画を着実に進め、その成果をあげてまいりました。

この間、人口減少や少子高齢化、地球温暖化の進行、経済のグローバル化、東日本大震災を契機とした防災意識の高揚、地方分権改革の進展など本市を取り巻く状況は大きく変化しております。

このような社会環境・経済情勢・市民ニーズなどの変化に対応するため、平成17年合併時のまちづくりの基本理念「共に生きる」「自らを拓く」「未来へ歩む」を継承しつつ、『みどり ときめき たしかな未来 菊川市』を新たな将来像に掲げ、平成29年度から平成37年度までの第2次菊川市総合計画をここに策定しました。

先人が築き上げてきた地域の伝統や文化を継承し、本市の強みである贅沢な自然環境と調和し、交通アクセスの利便性を活かしたまちづくり、誰もが健康で生活できるまちづくりを進め、市民の皆さまに満足してもらえるまちであり、選ばれるまちとなるため、実効性のある市の最上位計画として、新たにまちづくりを市民の皆さまと一緒に進めてまいりましょう。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆さまをはじめ、菊川市総合計画審議会の皆さまや関係機関の皆さまに、心から厚くお礼申し上げるとともに、今後も市政発展のため格段のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年3月

菊川市長 太田 順一

目次

第1編 序論

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の目的	10
2 計画の名称	10
3 策定にあたっての基本的な考え	10
4 計画の構成と期間	11

第2章 菊川市のすがた

1 菊川市の位置・面積	12
2 合併の経緯	13

第3章 計画策定の背景

1 時代背景	14
① 少子高齢化・人口減少、地方創生の取組	
② 環境負荷に配慮する社会	
③ 地域経済をとりまく環境の変化	
④ 高度情報化の進展	
⑤ 加速する高齢化への対応	
⑥ 安全・安心意識の高まり	
⑦ 教育や子育てに対する関心の高まり	
⑧ 地域の歴史、文化、景観の再認識	
⑨ 市民参画、協働・共創意識の高まりと多様な人材の活用	
⑩ 公共施設等の更新時期の到来	
2 菊川市の現況と特徴	18
① 菊川市の概況【人口等の状況／土地利用、交通条件など／産業／財政事情】	
② 意識調査【一般市民調査結果／企業調査結果／団体調査結果／自治会調査結果／中学生調査結果／高校生調査結果／大学生調査結果】	
③ 市民からの提案	
④ 菊川市の特徴	

第4章 まちづくりの課題

課題1 家族形成世代の暮らしの安定を保つ	40
課題2 少子・超高齢社会に応じた社会環境の再整備	40
課題3 既存産業・特産物を活かした地域振興	41
課題4 便利で安全・快適な市街地の形成	41
課題5 「菊川文化」の醸成と外部に向けた情報発信	42
課題6 自助・共助・公助による安全安心な環境づくり	42

第2編 基本構想

第1章 まちの将来像

1 まちづくりの基本理念	44
2 将来像	45

第2章 めざすまちづくりの方向性

1 目標人口	46
2 将来都市構造	47
①基本的な考え方 ②将来都市構造 【将来都市構造概念図】	
3 基本目標	50

第3章 政策の大綱	52
-----------	----

第4章 基本構想の推進に向けて	54
-----------------	----

第3編 基本目標別取り組み

基本目標 1 子どもがいきいき育つまち 子育て・教育	57
基本目標 2 健康で元気に暮らせるまち 保健・福祉・医療・社会教育	69
基本目標 3 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち 産業	87
基本目標 4 快適な環境で安心して暮らせるまち 防災・環境・社会資本整備	99
基本目標 5 まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち コミュニティ・自助・共助・公助	113

資料編

1 第2次菊川市総合計画策定体制と市民参加	124
2 菊川市総合計画条例	128
3 菊川市総合計画庁内策定委員会要綱	130
4 第2次菊川市総合計画策定経過	132
5 菊川市総合計画審議会への諮問	135
6 菊川市総合計画審議会の答申	136
7 用語解説	137
8 政策指標一覧	146

* 印が付いている用語は、「7 用語解説」で解説をしています。

1 ページに複数ある単語は、最初に出てくるもののみ印を付けています。



富士山と一級河川菊川

